
一般演題 | 手術 (POP)

LSC RSC

座長:石川 哲也、森山 真吾

2023年8月5日(土) 17:10 ~ 18:05 一ツ橋ホール (日本教育会館 3F)

17:40 ~ 17:45

[1A50P]当院における RSCと LSCの治療成績の比較検討

○大淵 朝日¹、栗山 萌子¹、大井手 志保¹、西尾 浩二郎¹、永榮 美香¹、常盤 紫野¹、林 篤正¹、野村 昌良¹、Soliza Divina Yumul¹、Pesebre Antonette Ramos¹ (1. 亀田総合病院ウロギネ・女性排尿機能センター)

キーワード : LSC、RSC

【緒言】腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC)は骨盤臓器脱に対して有効な治療として普及している。また2020年にロボット支援腹腔鏡下仙骨腔固定術(RSC)も保険収載され、今後普及していくことが期待される。当院では、2013年よりLSCを開始し2022年4月よりRSCを開始した。今回LSCとRSCの治療成績について検討したので報告する。【方法】2022年4月～2023年3月のLSC294例、RSC104例の手術成績について検討した。またOABSSとICIQ-SFをもとに術前と術後2か月におけるOAB症状とSUIを比較した。【結果】LSC:年齢72歳(以下、中央値)、BMI23.3、POP-Q stage II 83例,III 148例,IV 63例、子宮摘出後21例。手術時間281分、出血量10ml。RSC:年齢72歳、BMI23.9、POP-Q stage II 15例,III 69例,IV 20例、子宮摘出後17例。手術時間274分、出血量5ml。LSC:術前OAB131例(44%)、術後OAB消失78例(60%)。術前SUI63例(21%)、術後SUI消失43例(68%)、de novo SUI53例(23%)。RSC:術前OAB43例(41%)、術後OAB消失28例(68%)。術前SUI38例(37%)、術後SUI消失11例(29%)、de novo SUI33例(50%)。【考察】LSCとRSCの手術成績を比較して差はみとめなかった。短期間の観察であり、骨盤臓器脱の重症度等の因子の検討はなされていないが、術後OABは改善傾向であることが推測された。またRSCはLSCと比較して、de novo SUIが多かった。